

2016年11月30日

報道関係各位

社会福祉法人敬友会 高齢者住宅研究所

無料冊子「サービス付き高齢者向け住宅の制度化から現在までの変遷 ーサービス付き高齢者向け住宅制度開始5年の歩みを振り返るー」の公開

2011年サービス付き高齢者向け住宅（以下、「サ高住」と略す）の登録制度が創設され、2016年10月で丸5年が経過しました。この5年間で6394棟、208503戸がサ高住として登録されました。サ高住を増やすための支援措置もあり、サ高住の整備が進んでいます。

サ高住の普及、地域包括ケアの進展に伴い、求められるサ高住への役割も多様化し、登録されているサ高住の内実（各地域での登録の進展状況、居室面積や住戸内設備の状況）も変化しています。運営の問題も浮き彫りになり、それに伴いサ高住制度関連の指針・法令にも変化が見られました。

高齢者住宅研究所では、サ高住の登録制度創設から現在までの5年にわたり、登録状況の分析、生活環境やサービス実態に関する調査・分析を実施してきました。このたびこの5年にわたる状況の概観を行い、これまでの調査分析をまとめた冊子「サービス付き高齢者向け住宅の制度化から現在までの変遷ーサービス付き高齢者向け住宅制度開始5年の歩みを振り返るー」を作成しました。本冊子では、当研究所に多くお問い合わせをいただきましたサ高住の機能調査の評価にかかわる全評価項目や、サ高住における看取りケアの現在の状況にかかる調査の詳細もすべて掲載しました。本日17時より当研究所のホームページ上にて無料で公開しています。

本書が、サービス付き高齢者向け住宅の展開、運営、管理に関わる方々にとって一資料となり、これからの高齢者の住まいについて考えるきっかけとなれば幸いです。

【ダウンロード方法】

下記、当研究所ホームページのバナーよりアクセスいただき、お名前、ご所属等を明記の上、簡単なアンケートにお答えいただき、資料をダウンロードください。

「サービス付き高齢者向け住宅の制度化から現在までの変遷」主な内容

【本論】

1. 制度、法令等

- (1) - 1 制度説明：サ高住制度の背景と目的
- (1) - 2 指針、法令の変化

2. 制度創設以来の登録状況の概観

(2) サ高住登録状況

3. 住み替え先の住宅としての機能

(3) サービス付き高齢者向け住宅の機能調査の考え方

【コラム】

コラム1：地域資源を生かした住まいづくり

コラム2：安心してすむことのできる住まいを契約形態から考える

- 有料老人ホームとサービス付高齢者向け住宅の契約形態の違い -

コラム3：東京、大阪、北海道の登録状況の違い

コラム4：住宅か施設かの選択－住まいとは

【資料】 サ高住の分析 研究業績各分野のまとめ

1. サ高住の分析 研究業績各分野のまとめ 説明

- 1) 入居前の生活環境、世帯状況
- 2) 災害の視点からみた居住環境
- 3) 平面構成、付帯設備
- 4) サービスの実態、課題、あり方
- 5) 状況把握
- 6) 看取り、連携
- 7) 情報提供

2. 終末期居住を支援する環境指針

3. 機能調査項目紹介

4. 機能調査 プレスリリース

(以上)

.....

高齢者住宅研究所は、サ高住を含めた高齢者住宅や高齢者の生活環境、サービスに関する研究・調査結果等をもとに、高齢者の居住安定のための機能・住まいの質の向上のための情報を提供してまいります。

【お問合せ先】 高齢者住宅研究所 担当 絹川（キヌカワ）

住所：大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪セントラルタワー南館5階

TEL：06-6838-3930

Email：kojuken@keiyuu-kai.or.jp

URL：<http://iehs.jp/>